

若手アカデミー分科会の設置について

分科会等名：未来を拓く学術イノベーション分科会

1	所属委員会名	若手アカデミー
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>我が国の国際研究競争力は年々低下している。社会全体から余裕が失われ、挑戦的な研究への投資が行われにくい現状は、避けることができない人口減少と合わせ、日本の未来を脅かしている。そんな中、従来型の産官学連携を超え、研究開発と社会実装を両輪とし、新たなイノベーションを産み出す在り方が模索されている。特に、科学的な革新により世界に大きな影響を与えようとする「ディープテック」型大学発スタートアップや、産業界と大学、地方自治体と市民が技術やアイデアを共有することで価値を生む「オープンイノベーション」など、学术界と社会との新たな関わりが始まっている。</p> <p>そこで本分科会では、若手として、学术界が新たなイノベーションを産み、未来を拓く社会の新たな価値を創出する道筋を議論する。</p> <p>これにより、我が国の学术界と産業界が陥る負のスパイラルを反転させ、未来の科学技術立国日本の在り方を示す。</p> <p>また、若手アカデミーの他の分科会と連携することで、地域におけるイノベーションのエコシステムを創出、外部組織との開かれた交流についても実施する。</p>
4	審議事項	<p>1. 産官学連携を通じたイノベーション創出の在り方</p> <p>2. イノベーション・エコシステムの創出</p> <p>3. イノベーションを通じた地域創生</p> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和6年2月29日～令和8年9月30日
6	備考	本分科会は事実上第25期「イノベーションに向けた社会連携分科会」の継続である。